

研究題名	7年間取り組んできた「がん看護外来」の実態調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院 看護部
研究責任者	古澤恭子
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後～2023年8月
研究の意義・目的	<p>A病院は地域がん診療連携拠点病院として専門的・高度ながん治療を行っています。昨今は、治療の提案とその決定は外来で行われ、がん患者さんは多くの情報から短い時間で意思決定をしなければならなくなりました。また、がん対策基本法に基づき外来での緩和ケアの推進が求められています。そこで、がん患者さんが効率的かつ効果的な緩和ケアを受けられることともに意思決定が行えること、入院・外来・地域間の連携を円滑に行うことを目的に掲げ、2016年1月からがん看護外来を開設しました。</p> <p>7年間の活動では、診察の同席や患者さんとの面接を通じて、病期ごとの意思決定支援、ACPの導入と推進、診断期からの緩和ケアと地域連携などに取り組んできました。今回は、7年間のがん看護外来の活動の成果と課題を明らかにし、A病院のがん看護の質の向上とがん看護外来の推進活動の一助にしたいと思います。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>事例報告(症例報告)</p> <p>研究対象となる方は、2016年1月～2023年3月の間に武蔵野赤十字病院でがん看護外来を受診した方です。</p>
<p>① 情報の利用目的及び利用方法(匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法を含む)</p> <p>② 利用し、又は提供する情報の項目</p> <p>③ 利用する者の範囲</p> <p>④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>① 上記の通り実践報告のために情報を使用します。データの取り扱いについては、匿名性を保持し記録・保管を行います。要配慮個人情報も含まれるため、情報は抽象的な記録とします。年齢は年代別で表記し、病期は診断期・治療期・ギアチェンジ期・終末期の4期と大まかな時期とします。データは、パスワードロック付き機能の媒体に格納し、鍵のかかる場所に保管します。実践報告終了後に速やかにデータを削除または破棄します。</p> <p>② 診療録より年齢、性別、病期、診療科とがん看護外来の実施内容、算定した指導管理料、多職種連携先のデータを収集し、個人の特特定ができないよう匿名化を図ります。</p> <p>③ 古澤恭子</p> <p>④ 古澤恭子(看護部)</p>

問い合わせ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1 武蔵野赤十字病院 看護部 氏名 古澤恭子 TEL 0422-32-3111 内線 6808
--------	---